

政策	54 文化の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	文化芸術に触れる機会の確保や文化施設の活用等により文化に親しむ環境を整える。 文化活動団体の支援や文化の伝承者の育成により地域の特色ある歴史文化の継承・発展を図る 本市に縁のある文化人を顕彰するとともに、文化財をはじめとする歴史的文化遗产の保護や地域資源としての活用を図る。						
成果指標	文化芸術活動等の参加者満足度...平成29年度で80% 文化財保有・伝承者の満足度...平成29年度で70%						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	76.00	77.00	78.00	79.00	80.00
		実績	76.00	77.60	77.30	70.40	68.30
	成果指標2 [%]	予定	50.00	55.00	60.00	65.00	70.00
		実績	50.00	39.40	63.40	32.70	92.70
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	574,309	469,186	579,642	645,621	634,217	
	実績	578,860	462,042	451,223	664,161	572,192	
内部評価	貢献度	基本方針を推進するためには、文化に親しむ環境づくりや、歴史文化の継承・発展、文化活動団体支援等が必要であり、本基本施策目標達成の貢献度は高い。					
	達成状況	文化芸術活動等の参加者満足度は目標値を達成することができなかったが、文化財保有・伝承者の満足度は、目標値を達成することができた。					
	課題	老朽化した文化関連施設の維持管理に伴う経費を削減すること。また、効果的な文化財の保存・活用を図ることが必要である。					
	取組方針	施設再編にむけて、老朽化した文化関連施設の効率的な維持管理を検討する。また、教育・観光・産業などの分野と連携し、文化に親しむ環境づくりをする。					
外部評価	文化芸術活動等に対する参加者満足度は目標を下回っていることについて、内部評価で十分な検証がなされていないことが残念に感じる。文化の振興は本市において、重要な施策であると思われることから、一層の努力を期待したい。 本市は文化財や歴史的資源に恵まれているものの、その情報の発信や活用方法は不十分であると思料されることから、下位の単位施策の外部評価でも示したように、誰に何をどう伝えるかという情報発信の在り方や、他の施策との連携による相乗効果が図れるような取組みを行い、次回の外部評価で示されるようお願いしたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5402	歴史文化等の保護と活用				202,031	99
	5401	文化芸術活動の推進				370,161	97

平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	54 文化の振興		
区分	妥当性	妥当	文化芸能活動の推進及び歴史文化等の保護と活用は、文化振興にとって重要であり、各種事業は妥当である。
	コスト削減の余地	有	文化関連施設の統廃合を進めることにより、維持補修等に係るコストの削減が可能と思われる。
	受益者負担	適正	施設利用者等には、妥当な受益者負担を求めており、適正である。
	上位貢献度	有効	基本方針を推進するうえで、大いに貢献している。
	類似事業の有無	無	他に類似する事業はない。
	成果向上の余地	有	文化会館自主事業や美術館の企画内容の充実について、検討する余地がある。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	上位基本方針である「健やかに人を育み学び続けられるまちづくりに」に大いに貢献している。	
	達成状況	文化芸術活動等の参加者満足度が、目標値に達していないのは、各文化会館の様々な不具合に対応するため、貸し出しを見合わせたことが影響していると思われる。 文化財保有・伝承者の満足度は、継続した調査が困難なことから、満足度の成果指標を変更した。	
	課題	各地域に文化関連施設が重複している。また、それらの建物は、建築後相当年数経過しているため維持管理費が莫大になっていること等が課題となっている。	
	取組方針	公共施設再編に向けて、関係機関と情報交換しながら、効率的な維持管理をするとともに、市民が文化に親しみやすい環境をつくっていく。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	上位基本方針である「健やかに人を育み学び続けられるまちづくりに」に大いに貢献している。	
	達成状況	文化芸術活動等の参加者満足度は、目標値に向かって順調に推移していたが、老朽化した施設の維持管理(工事)のため、一部休館しなければならない状況となっているため、伸び悩んでいる。 文化財保有、伝承者の満足度は、継続した調査が困難なことから、満足度をはかる指標を再検討し、施設来館者のアンケートに変更した。	
	課題	各地域に文化関連施設が重複している。また、それらの建物は、建築後相当年数経過しているため維持管理費が莫大になっていること等が課題となっている。	
	取組方針	公共施設再編に向けて、関係機関と情報交換しながら、効率的な維持管理をするとともに、市民が文化に親しみやすい環境をつくっていく。	